

令和3年度 学校評価（自己点検・自己評価）結果

○評価基準(4 十分達している、3 概ね達成している 2 改善の余地あり 1 検討が必要)

【令和2年度評価の平均値→令和3年度評価の平均値】

○令和2年度常勤職員24名(回答率100%)→令和3年度常勤職員27名(回答率100%)

○コロナ禍により中止・延期・変更になった活動も多かったが、自己評価は総じて高い結果となっています。

1 教育理念・目的・人材育成像

(1) 理念・目的・育成人材像など学科の特性が明確になっているか

【3.63→3.74】

昭和41年(1966年)に北海道美術学校として設立以来、業界の黎明期から実践的かつ職業人として自立する人材の育成に取り組んでまいりました。

令和3年度中に各学科・専攻において、「目指す学生像(ディプロマポリシー)」「教育課程編成方針(カリキュラムポリシー)」などの再確認を行いました。

今後も建学の精神である「熱意」「決意」「創意」を教職員で共有し、デザイナー・クリエイターとして活躍できる人材の育成に努めてまいります。

(2) 各学科の教育目標・育成人材像は業界のニーズに向けて方向づけられているか

【3.58→3.56】

専門的スキル・知識と社会人基礎力の習得を、人材育成の柱と考え教育活動を展開しています。平成26年度に文部科学大臣より「職業実践専門課程」として認定を受け、各業界で活躍する専門家を講師に招いて、より実践的な人材の育成に努めています。また、前述したとおり、社会・業界の変化に対応すべく、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーなどの見直しを行っています。

2 学校運営

(3) 目標等に沿った学科運営方針が明確になっているか

【3.83→3.70】

各学科・専攻とも、学校目標や運営方針等を踏まえ、学生の実態や社会のニーズ等に応じて教育課程を編成し、また講師会議や教育課程編成委員会等においても課題を共有するなど、カリキュラム・マネジメントの充実を図っております。

(4) 教育活動に関する情報公開が適切になされているか

【3.58→3.63】

ホームページを中心に、TwitterなどのSNSも活用し、情報が陳腐化しないようスピード感をもって行っております。また、学校案内を、道内のすべての高校に配布するとともに、各種相談会や体験入学でも希望者に対して配付しています。その中では、よりカリキュラムの特色や就職状況等も公開・説明しています。

また、令和3年度より一斉メール送信サービスを導入し、学生や保護者、講師に

対して迅速で正確な情報提供に努めています。

3 教育活動

(5) 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が示されているか

【3. 67→3. 78】

各専攻の専門性を重視し、教育課程編成委員会での助言等を参考に教育課程表や年間行事予定等を作成しています。また、デザイン・コンペティションへの参加や校外学習、学生グループ制作展等を通じて、専門的な知識と実技のバランスに考慮した教育活動を行っております。

(6) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

【3. 42→3. 63】

学則をもとに教務規程を定め、成績評価や単位認定の基準を明確に設定し、これに従って進級並びに卒業認定を行っております。また、これらの基準等については、入学後のオリエンテーションにおいて学生に説明しております。

近年、メンタル等に不安を持つ学生が増えていることから、弾力的な運用を図るとともに、学則や諸規程については、時代に即したものとなるよう改正・変更を努めています。

(7) 資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか

【3. 54→3. 60】

「ビジネス能力検定」については、社会人としての基礎力向上を図るため、学科や専攻を問わず指導体制を明確にし、受検料の補助などを行って受検を促しています。また、各専攻の専門分野に対応した各種検定試験についても、在学中受検が可能となるよう個人指導を行うなど配慮しています。

(8) 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる指導体制を確保しているか

【3. 50→3. 52】

教職員採用要件として、専門学校の役割や本校の目標を希望者からしっかりと確認し、各業界において積み重ねてきたキャリアを活かすことができるよう配慮しています。また、外部研修会等への参加を促し、教員の資質向上に努め、人材育成に必要なノウハウを組織的に構築できるよう努めています。

4 学修成果

(9) 就職率の向上が図られているか

【3. 46→3. 56】

就職課の専任教員が、入学後からガイダンスや面談を積極的に行う等、計画的・積極的に就職指導を推進しています。また、校内での企業説明会を積極的に受け入れて、企業担当者から直接学生に対して、求める人材や社会人として心構えなどを話していただく機会を設定し、学生の就職への意識高揚を図っています。

(10) 退学率の低減が図られているか

【3. 38→3. 07】

学生理解を深めるために、関係団体が実施するメンタルヘルスに関する研修会にも参加し、メンタル面で心配のある学生への適切な指導・対応に努めています。ま

た、担任が適宜適切に学生と面談を実施し、家庭との連携を進めながら、中途退学を防ぐ取組を進めていますが、近年不登校傾向の生徒の入学者が増える中で、現下のコロナ禍と相まって令和3年度は退学者が例年より多くなりました。引き続き丁寧な指導に努めてまいります。

5 学生支援

(11) 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

【3. 67→3. 70】

1年生の早期より就職ガイダンスや就職希望調査を行うとともに、就職活動セミナーや企業説明会への積極的な参加を促しています。また、就職課と担任との連携を密にし、求人企業と学生のマッチング等、学生一人一人の希望と特性を踏まえた指導を丁寧に行っています。

また令和3年度には校内で初めて合同企業説明会を開催し、17の企業に参加していただきました。

(12) 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

【3. 50→3. 59】

本校独自の各種奨学金・支援制度(給付型)を充実させ、入学する学生への支援を行っています。また、公的な奨学金や給付金などについても、校内説明会を実施し、返済等将来を見据えた利用について指導しています。

6 教育環境

(13) 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

【3. 21→3. 22】

コロナ禍おけるリモート授業等に対応するために国の補助金等を活用しながら、学生一人一台端末に向けて整備を進めるなど、ICT環境の充実を図っています。一方、インターンシップや海外研修については、例年どおりには実施できませんでした。

(14) 防災に対する体制は整備されているか

【3. 42→3. 22】

各室に管理責任者を置き、火気管理をはじめとして防火・防災等の分担責任を定めています。また、消防設備点検は業者により6ヶ月毎に実施するなど法にもとづいた各種点検を行っています。なお、校舎は耐震基準を満たしております。

7 学生の受入募集

(15) 学生募集活動は、適正に行われているか

【3. 63→3. 56】

広報部を中心に、高校訪問を積極的に行い、広報メディア等への原稿や学校説明等については、高校生が理解しやすいよう見やすさ、分かり易さに重点を置き内容の精選を図っています。また、体験入学等では奨学制度や入学制度等の具体的な情

報提供をしています。ホームページには正確な情報公開を心掛け、細心の注意を払っております。

(16) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

【3. 63→3. 44】

実践力を備えた人材の輩出が本校の第一の目標であり、その観点から就職率やコンペティション入賞等の成果を的確にホームページ等で公開し、学校案内でも紹介しています。

8 財務

(17) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

【3. 50→3. 41】

透明性の確保のため、財務諸表をホームページに公開しています。日本私学共済事業団が示しているキャッシュフローの推移を参考指標としており、長年の無借金経営を継続し中長期的にも健全な財務基盤であり、経営状況は安定しています。

(18) 財務について会計監査が適正に行われているか

【3. 58→3. 56】

会計監査は監査法人により年3回(12、4、6月)実施し、その後本学園の会計監査を実施しています。財務について、適正な判断がなされておりホームページ上に公開しています。

9 法令の遵守

(19) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

【3. 33→2. 96】

「美専学園個人情報保護基本方針」を定めて、個人情報の保護に万全を期しています。個人情報保護法に基づき、出願者、入学者、学生はもとより、講師を含めた教職員の個人情報等に関しても、情報管理の一元化や管理体制の厳格化に努めております。

令和4年4月より個人情報保護法が改正されたことから、より厳格な取り扱いに努めてまいります。

10 社会貢献・地域貢献

(20) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

【－ → 3. 19】

コロナ禍により制約がありましたが、中学生の進路学習に協力するなど、できる範囲での貢献を行っております。

11 国際交流

(21) 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか

【－ → －】

コロナ禍により令和2年度に続き、留学生の受入れ・派遣ともに不可となりましたが、希望者を募り、リモートによって海外の大学と交流を行いました。